

# 「訪日外国人旅行者の医療に関する実態調査」結果

---

平成30年3月29日

# 訪日外国人旅行者の医療に関する実態調査

## 【調査の概要】

- 訪日外国人旅行者(※)を対象に、訪日中の不慮の怪我や病気の医療費をカバーする保険の加入状況や、実際に不慮の怪我・病気になった人の日本の医療機関における受診実態に関するアンケートを実施した。
  - 訪日外国人利用者の多い成田国際空港、東京国際空港、関西国際空港で回答を収集した。
- (※) 1年未満の短期旅行者で、トランジット目的や留学目的でない帰国直前の訪日外国人旅行者

## 【調査日程・場所】

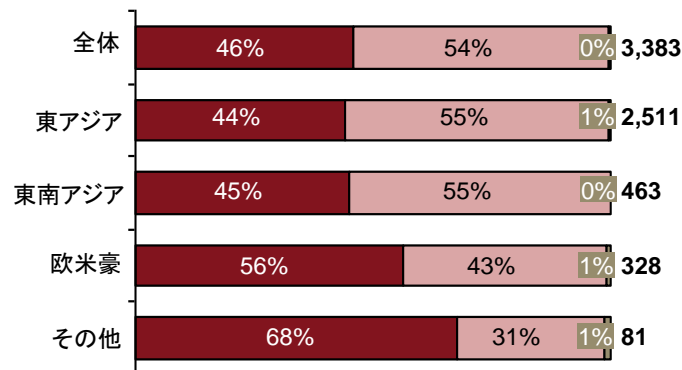
	平成29年度調査日
成田国際空港	平成29年12月13日～14日、23日、25日～27日、平成30年1月4日
東京国際空港	平成29年12月18日～20日
関西国際空港	平成30年1月8日～12日

回収合計: 3,383件

## 【回答者の属性】

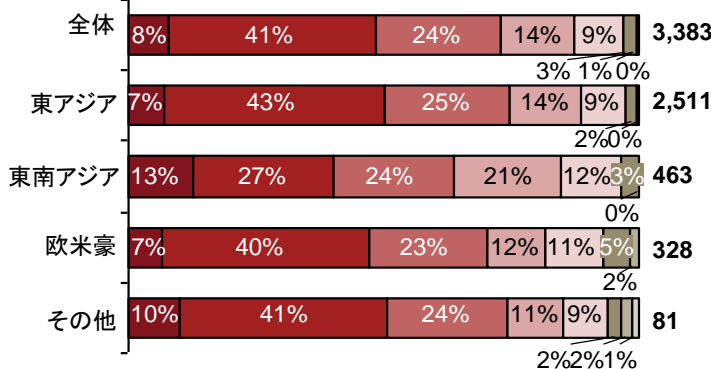
### 性別 (n= 3,383)

■ 男性 ■ 女性 ■ 答えたくない



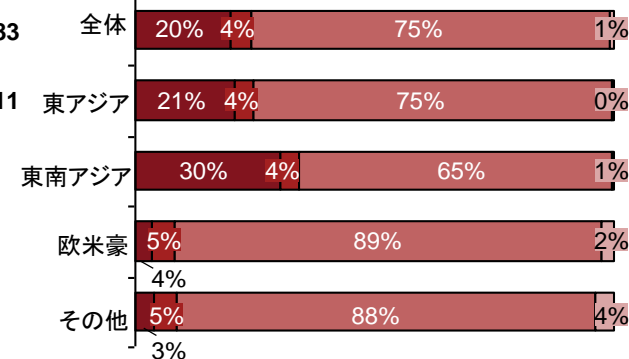
### 年齢 (n= 3,383)

■ 10-19 ■ 20-29 ■ 30-39 ■ 40-49 ■ 50-59 ■ 60-69 ■ 70-79 ■ 80以上



### 手配方法 (n= 3,383)

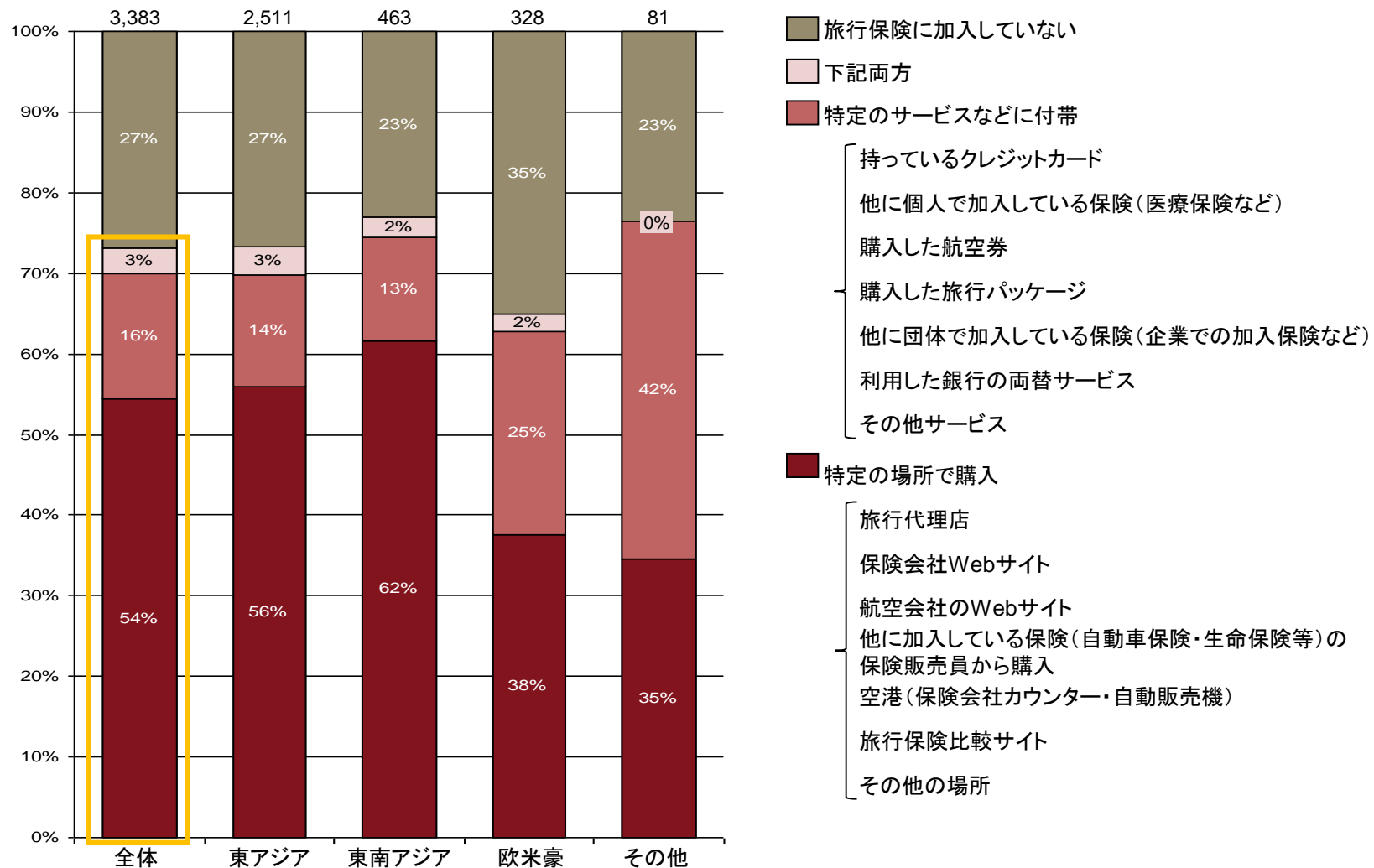
■ 団体ツアーに参加 ■ 個人手配 ■ 個人旅行パッケージ商品 ■ その他



# 調査結果 ①旅行中の医療費をカバーする旅行保険加入状況

- ・旅行中に怪我・病気になったときの医療費をカバーする旅行保険の加入率は、全体の73%であった
- ・加入方法に関しては、旅行代理店等の特定の場所で購入する割合が全般的に高い

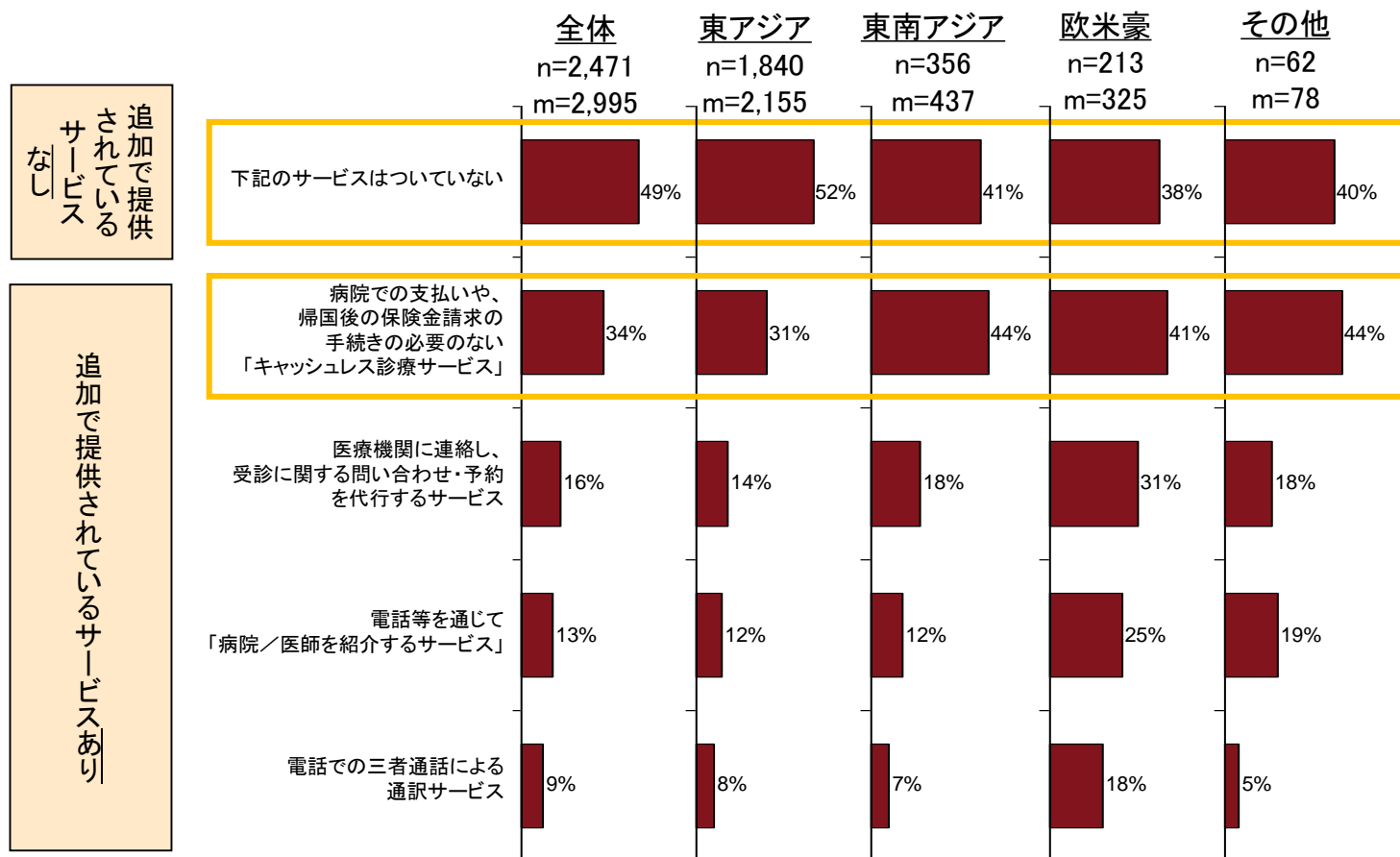
今回の訪日旅行における怪我・病気になったときの医療費をカバーする旅行保険の加入状況 (n= 3,383)



# 調査結果 ②旅行保険の付帯サービス状況

- 旅行保険加入者の約半数は、通訳等の追加サービスが付帯していないタイプの保険に加入していた
- 最も付帯されているサービスは、病院での支払いや、帰国後の保険金請求の手続きの必要のない「キャッシュレス診療サービス」で全体の34%であった

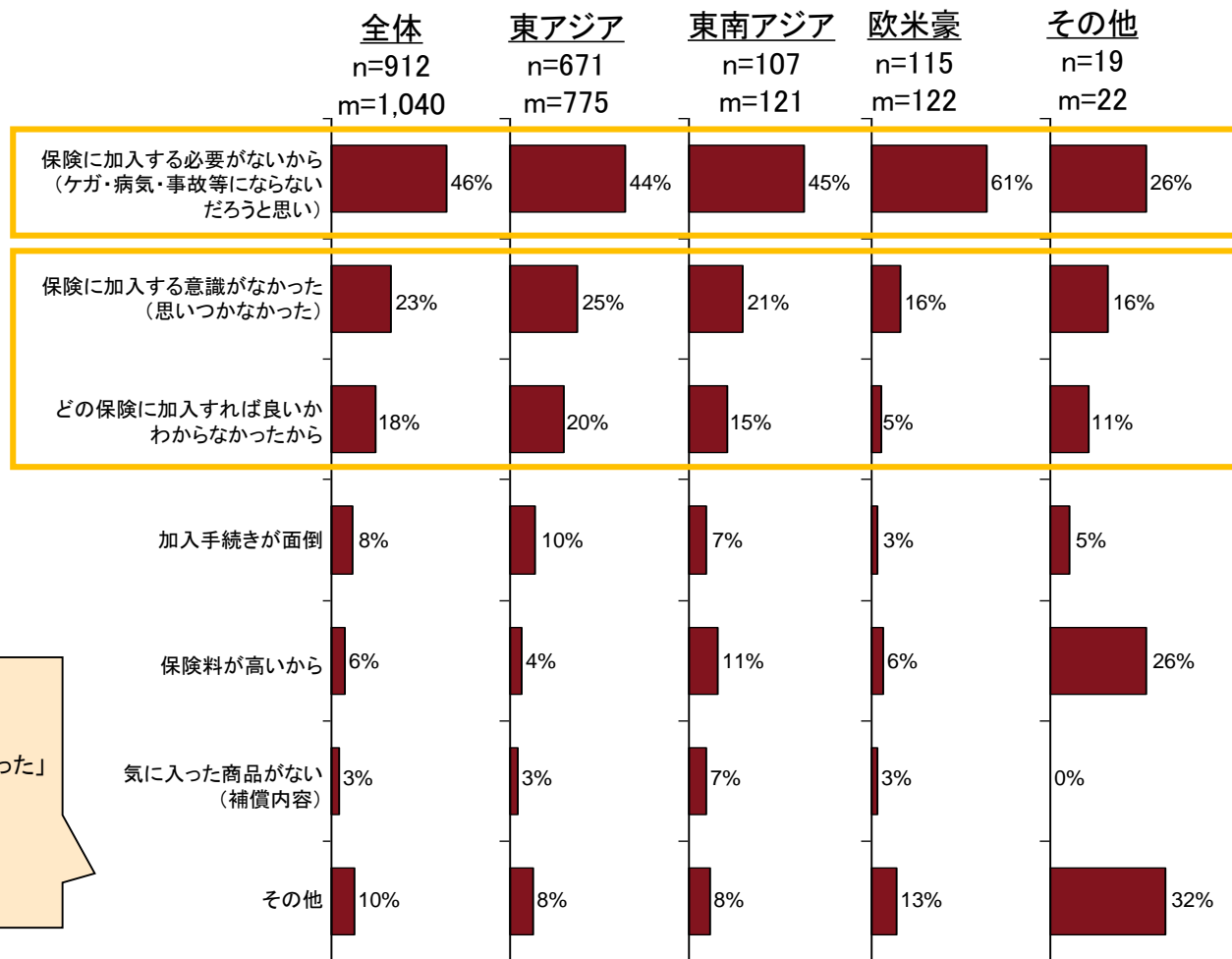
今回の訪日旅行で加入した旅行保険の付帯サービスの状況(複数回答, n=2,471, m=2,995)



# 調査結果 ③旅行中の医療費をカバーする旅行保険に加入しなかった理由

旅行中に怪我・病気になったときの医療費をカバーする旅行保険に加入しなかった人の理由としては、「加入する必要がないから(怪我・病気ならいだろうと思う)」が46%で最も高く、次に「保険に加入する意識がなかった」が23%、「どの保険に加入すれば良いか分からなかった」が18%の順となった

今回の訪日旅行において、怪我・病気になったときの医療費をカバーする旅行保険に加入しなかった理由 (n=912, %)

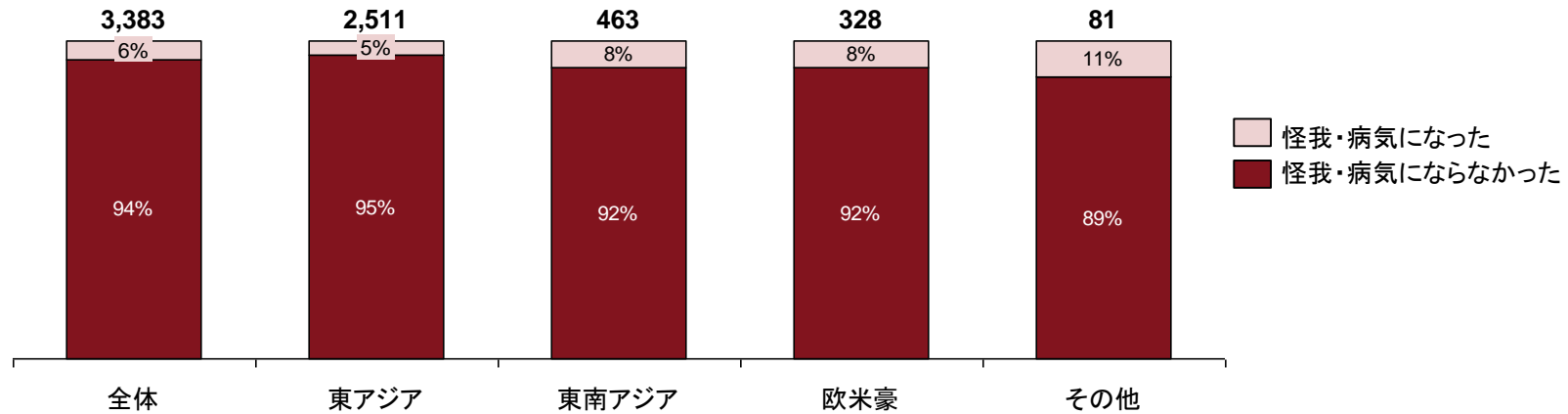


<その他>  
 ・「加入する時間がなかった」  
 ・「旅行保険があることを知らなかった」  
 ・「既に保険に加入している」  
 ・「実際に購入したか分からない」  
 ・「日本は安全だと思った」  
 など

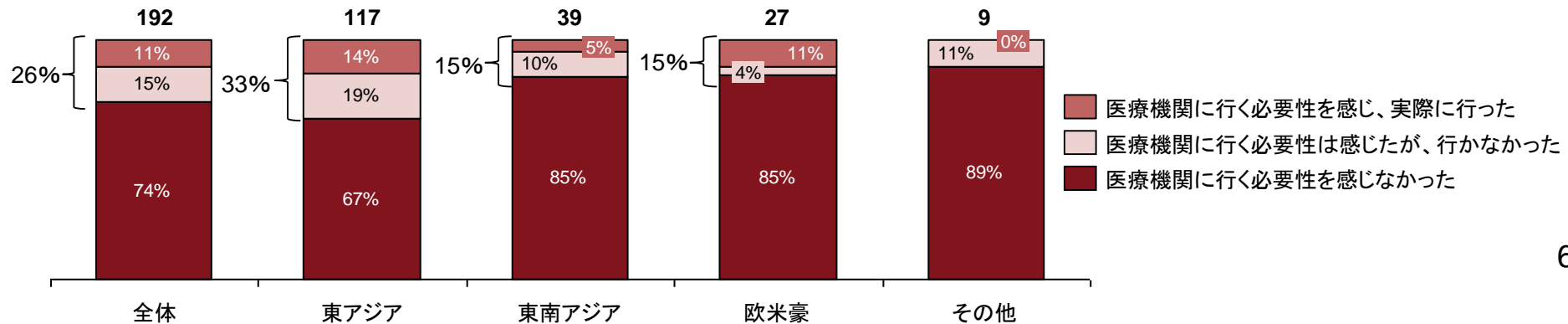
# 調査結果 ④訪日旅行中に不慮の怪我・病気になった人の割合、医療機関の受診状況

- ・訪日旅行中に怪我・病気になったのは、調査対象者全体の6%であった。また、そのうち、医療機関に行く必要性を感じた人は26%であった
- ・従って、調査対象者全体の1.5%が、訪日旅行中に怪我・病気になり、医療機関に行く必要性を感じていた

訪日旅行中に、怪我・病気になった割合 (n=3,383)



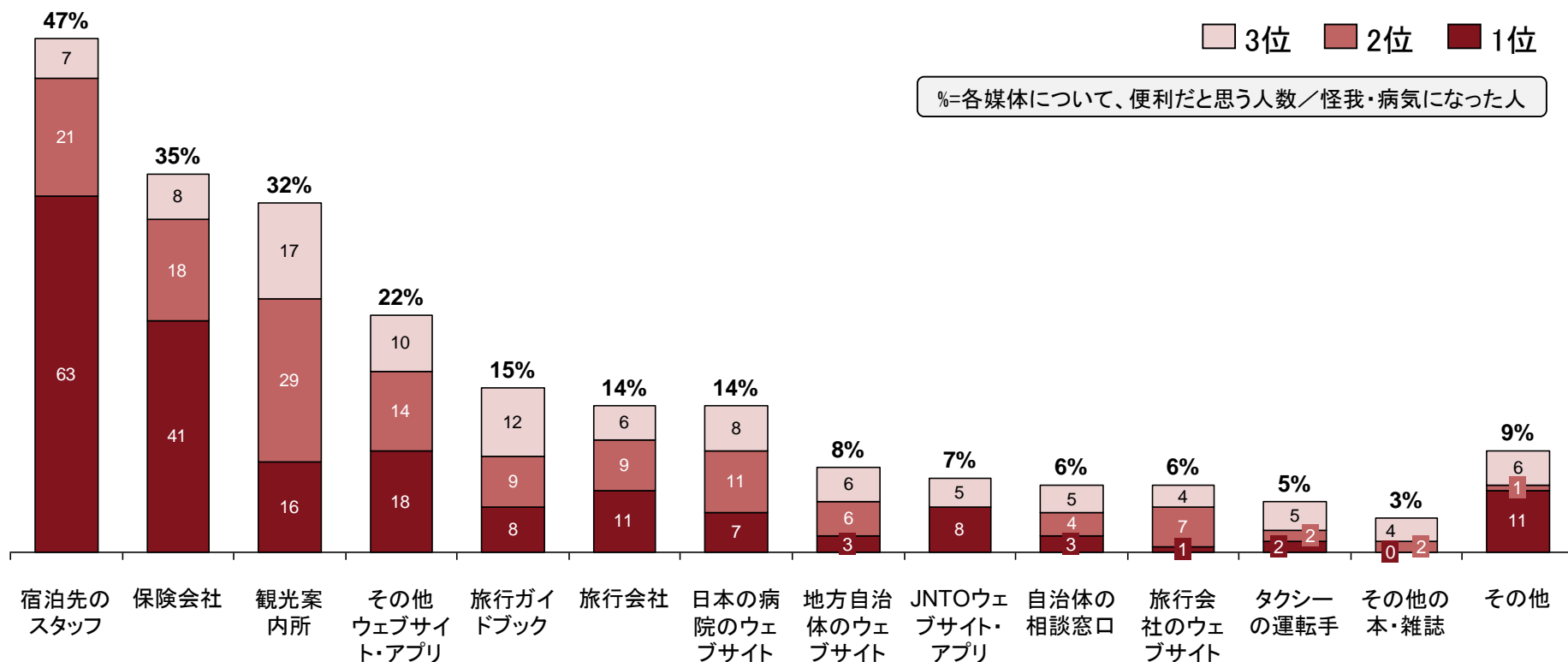
医療機関に行く必要性を感じた割合 (n=192)



# 調査結果 ⑤訪日旅行中に不慮の怪我・病気になった際、必要な医療機関を見つけるための情報提供

・訪日旅行中に怪我・病気になった際に医療機関の情報を提供していると便利だと思えるものとして、「宿泊先のスタッフ」「保険会社」「観光案内所」の順に高い

訪日旅行中に、怪我・病気になった際に、「必要な医療機関を見つけるための情報提供」をしていると便利だと思えるもの（優先順位の高い順に1位、2位、3位と記載 n=192）

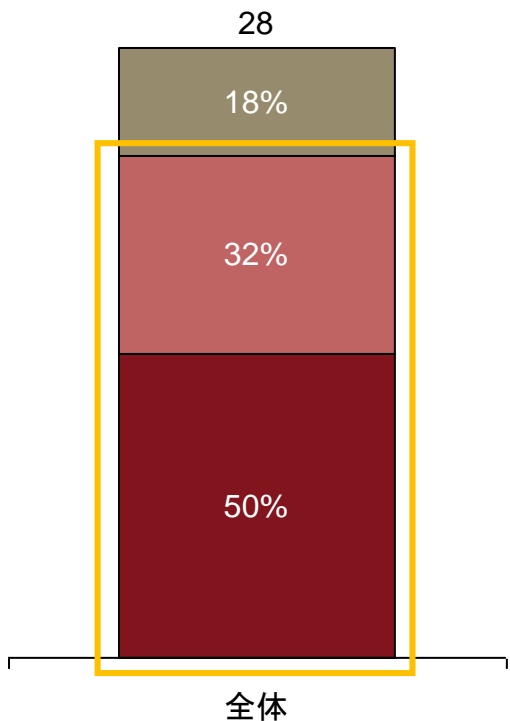


# 調査結果 ⑥医療機関で診療を受けなかった理由

- ・医療機関に行かなかった理由として、「日本の医療機関について必要な情報が得られなかった」の割合が50%で最も高く、次に「初めから行くのを諦めていた」の割合が高かった
- ・必要な情報が得られなかった人が医療機関を調べた際の主な方法として、「見渡した」が32%と最も高く、次に「人に聞いた」が31%と高かった
- ・初めから行くのを諦めていた理由としては「言語に不安があった」と「行く時間がなかった」がそれぞれ23%で最も高かった

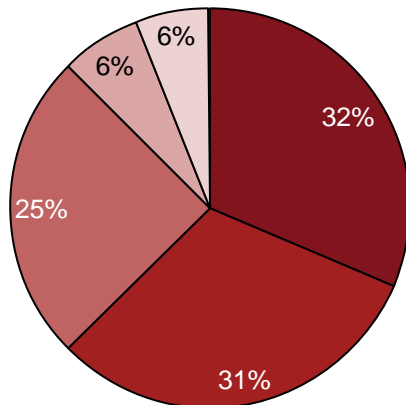
医療機関に行かなかった理由 (n=28)

- その他
- 初めから行くのを諦めていた
- 必要な情報は得られたが、条件に合う病院が見つからなかった
- 日本の医療機関について必要な情報が得られなかった



医療機関を調べた際の主な方法 (n=14, m=16)

- 見渡したが、見つからなかった
- 人に聞いたが、見つからなかった
- ウェブサイト・アプリを検索したが、見つからなかった
- 書籍をさがしたが、見つからなかった
- その他



初めから行くのを諦めていた理由 (複数回答, n=9, m=17)

- 言語に不安があった
- 行く時間がなかった
- その医療機関の情報をもらったソースが信用できなかった
- 便利な場所になかった
- 営業日・時間が合わなかった
- 紹介してくれた人の評価がよくなかった
- 費用が高そうだと不安だった
- 自国の医療機関で受診したい

